

見えない負担を、 見えるように。

重量物取扱い作業の リスクアセスメント

ー 筋骨格系障害防止の理論と実習

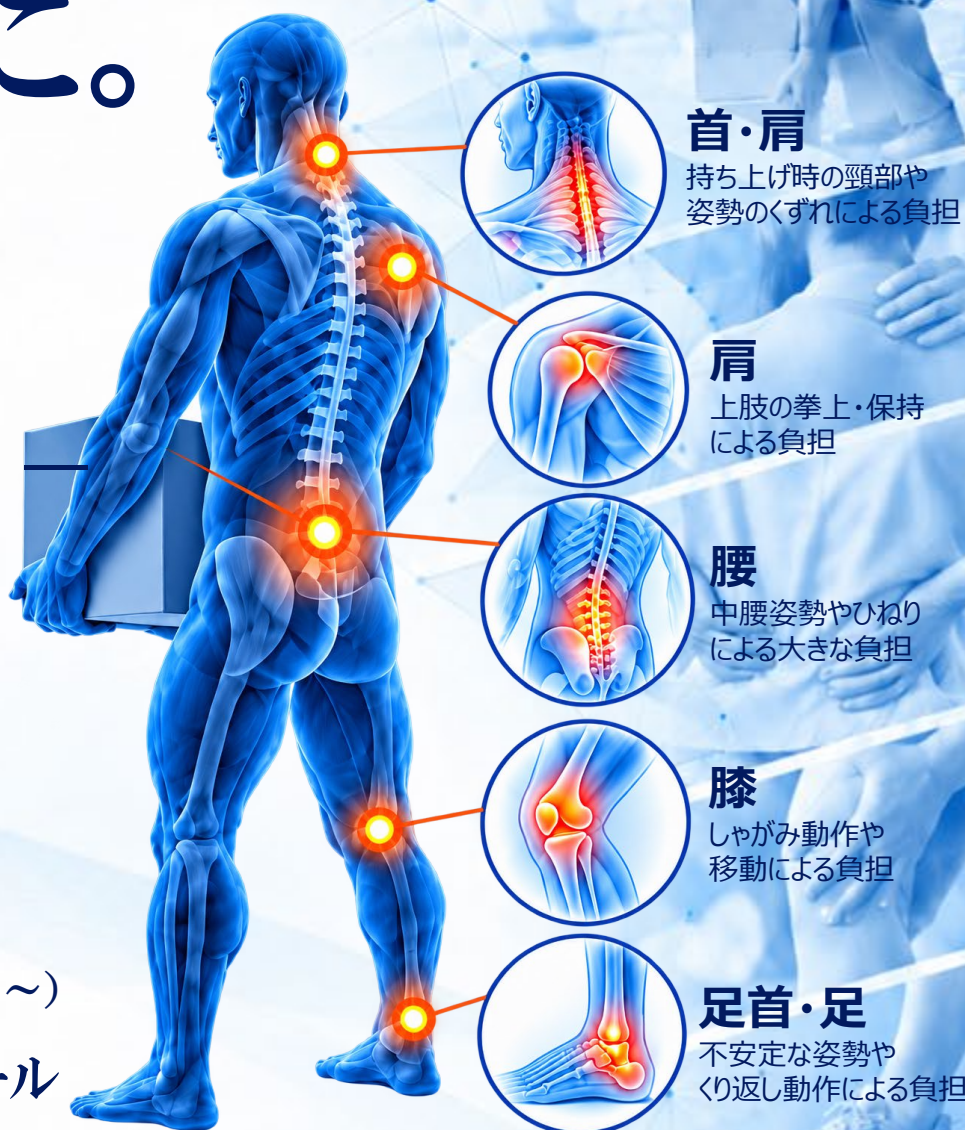
重量物取扱い作業による筋骨格系障害を予防するために、最新の知見と実践的なリスクアセスメントの手法を学びます。基礎から応用、実習までを通して、現場で行かせる評価・改善の考え方を体系的に理解することを目指します。

**日時**

2026年12月12日(土)
13:30～16:00 (受付開始 13:00～)

**会場**

東京大学 中島董一郎記念ホール
東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス内)
※詳細はWebページにてご確認ください。



首・肩

持ち上げ時の頸部や姿勢のくずれによる負担

肩

上肢の拳上・保持による負担

腰

中腰姿勢やひねりによる大きな負担

膝

しゃがみ動作や移動による負担

足首・足

不安定な姿勢やくり返し動作による負担

プログラム

- | | |
|------|--|
| 演題 1 | 国内の重量物取扱いルールを紹介と課題 |
| 演題 2 | 国際基準に基づく重量物取扱い作業のリスクアセスメント概論 |
| 演題 3 | AI姿勢推定によるリスクアセスメントの簡便化とその限界 |
| 実習 | NIOSH Lifting Equationによる評価→改善案の立案→再評価 |

人の動きを知り、 より安全で健康な職場へ



評価

リスクを定量的に把握する



改善

よりよい作業方法を考える



実践

現場で活かす



実践

人と組織の健康を守る



参加費

学会員：無料
学会員以外：資料代 1,000円



対象

産業衛生技術職、人間工学専門家、
産業医、産業看護職など

※本研修会は、日本医師会産業医制度の単位取得研究ではありません。

申込はこちら

▶▶▶
SCAN HERE
▶▶▶



関東産業衛生技術部会Webページ